

# 「machinoma 大森」にはこれからの Hint モリモリ！

EC 全盛時代に登場した都市型 DEV による近隣型 SC

主要駅よりバスで10分。都心とはいえ、決して便利とはいえず、かつ少々窮屈とさえいえる立地。ここに、これまで赤レンガや MARINE & WALK など“ハレの日型”施設開発を中心としてきた三菱商事都市開発株式会社（MCUD）による初の近隣型ショッピングセンター（NSC）「machinoma 大森」が開業した。先進的なデザインや最新鋭システム、初上陸テナントを売りにするわけではないこの施設が、なんだかとても新鮮に感じる。気持ち良いデザイン、ちょうどいい大きさ、なにより欲しいモノがちゃんと揃ったうえに、びっくりするほど面白くて通いたくなる魚屋がある。「こんなのが自分の家の近くにあったら毎日来ちゃうね。」という声がたくさん聞こえそう。補充型商品はネットで買えばいい、買い物にできるだけ時間を割きたくないこんな忙しい時代に、近所にあったら長居したくなる買い物だけじゃないうれしい場所。ありそうでなかった、できそうでできなかった、『ご近所 SC』に、これからのショッピングセンターの場づくりのヒントを探る。 ※ NSC : Neighborhood Shopping Center

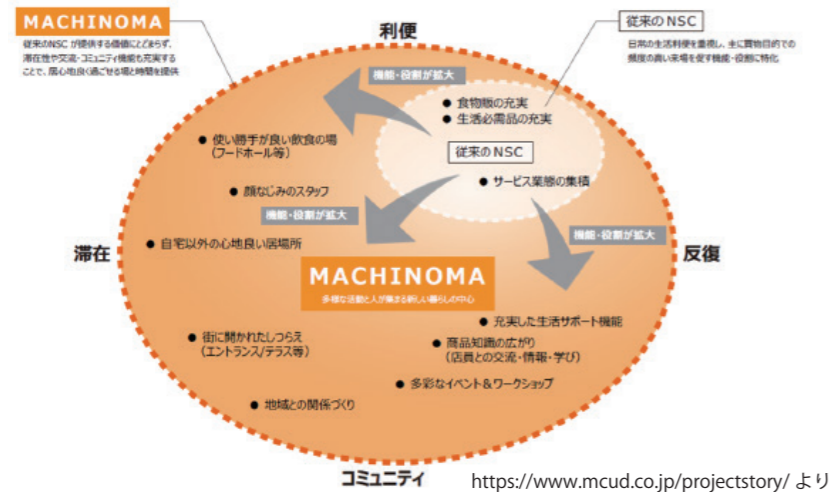
## Hints (development)

都市型デベが目指したのは、現代の「ヨロズヤ」+「チャノマ」

### 熟練デベの目利きによる日常 SC への確信力と実現力

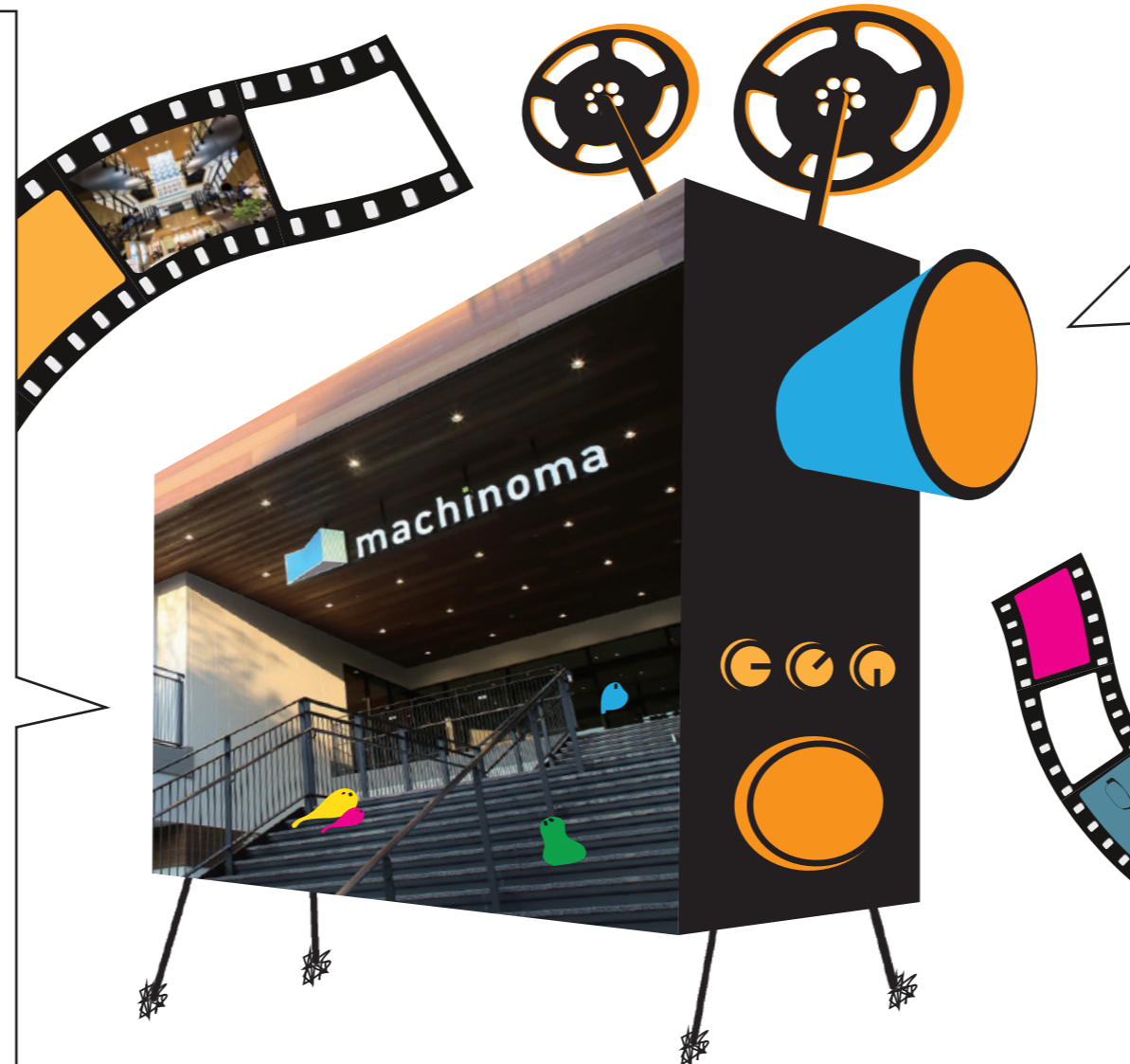
本立地における可能性（1.5 km に 21 万人）と都心型 NSC が持つ新しい可能性への確信は、商業施設づくりの長い経験値からきている。これまでハレの場づくりが中心だった MCUD だからこそ、日常シーンに対して新鮮な目でリサーチをし、たてた仮説を真摯に実現できたのだろう。広域から集客する大掛かりで派手なしかけづくりよりも、気軽に毎日来てもらえるような丁寧なしかけづくりが求められている時代と確信している。実はそれがなによりハードルが高く、とびきりにおしゃれなことだと知っているのだ。

### 機能の広がりを徹底的に追及し、新発想の NSC へ



### 用地取得の際にも秘められた“熱い想い”

古いクリーニング工場だったこの土地は、長く開発されないうままだった。都心型 NSC 開発をどうしても実現したかった MCUD はあきらめず粘ってルート開拓した後、リスクを覚悟で取得。その後、土壌除染に1年という時間とお金を掛けることとなる。確信をもったビジネスの賭けの結果、収益性の高い SC ビジネスを実現させた。



### ■居場所としての『ご近所 SC』

開発における細かなリサーチやコンセプト策定、もちろんターゲット戦略や時間 MD などの根幹を MCUD は概ね社内で作る。だからこそ商機を確信し、今後 machinoma を同社初の商業ブランドとして横展開することを決めた。奇をてらわれない開発で新しい時代に切りこむ姿勢は全てが目から鱗だ。「売る」ための効率を考えると生まれた窮屈さに生活者は敏感だ。だからこそ、居心地が良く使い勝手の良い居場所が近くに欲しいと願う人は多い。リアル店舗の商機ここにありだ。

## Hints (merchandising)

「日常」×「上質」を実現する  
魅惑的な専門店群

### 毎日の買い物が楽しみや驚きになるしかけ



### 充実のサービス業種。毎日通いたくなるフィットネス



### 街の行きつけスペース「マチノマノマ」



### [施設概要]

machinoma 大森



所在地 : 東京都大田区大森 3 丁目 1-38  
敷地面積 : 約 8,400 m<sup>2</sup>  
店舗面積 : 約 9,000 m<sup>2</sup>  
駐車場 : 約 270 台  
運営会社 : JLL モールマネジメント(株)  
開発会社 : 三菱商事都市開発(株)  
営業時間 : 10:00 ~ 20:00  
9:00 ~ 24:00 (SM)  
10:00 ~ 21:00 (F.C.)  
公式サイト : https://machinoma.jp/